

紙すき

10 紙すき



木枠に竹すを敷いた道具で舟水をすくい、前後左右に揺り動かしながら舟水をろ過していきます。これを数度繰り返して紙の厚さを調整します。卒業証書用の紙は0.4ミリの厚さに揃えられます。

11 アッサク シト 圧搾(紙床)



すき終えた紙を紙床に移し積み重ねていきます。一晩そのままにして自然に水を絞り、その後重石などで圧力をかけ、さらに水分を絞り出すことで、紙の密度が高まります。

12 乾燥



十分に水が切れたら、一枚ずつ丁寧にはがし干し板に張り付けて乾燥します。

13 検品



コウゾの刈り取りからおよそ1年、和紙の厚さなどを測り、合格したものだけが卒業証書の紙となります。

MESSAGE

卒業生に伝えたいこと

豊田市は、自動車産業を中心とするモノづくりの街です。その一方で、市域では、古くから和紙、陶器、木綿、生糸などのモノづくりが盛んです。手すき和紙などの伝統産業も継承されています。この、モノづくりの精神が現代の先端技術に受け継がれているといえます。

私たちが歴史を知ることができるのは、多くの事柄が和紙への記述などによって残り伝えられ

ているからです。その歴史から物事を学び、未来を切り開く道を見つけることができます。こうして人類は発展し、卒業生らにより今後も繰り返されることでしょう。

手すき和紙の卒業証書は、先人の知恵と工夫と努力などが受け継がれているものです。卒業生が未来にはばたくにふさわしい贈り物であると確信しています。

唯一無二 手すき和紙の 卒業証書用紙

とよたの伝統的ものづくりをつなぐ

豊田市立卒業生 板倉正典

卒業したことを証する
右は小学校の課程を
卒業したことを証する



動画はこちらから
ご確認ください

豊田市での和紙すきの歴史

豊田市での和紙すきの始まりについては不明です。伝説では、室町時代の明応5(1496)年に旭地区東萩平町にある三玄寺を建立するためにやってきた相庭という僧侶が、貧しい山村の暮らしを目の当たりにし、山野に多くあるコウゾと良質な水に着目して和紙すきを奨励したといわれています。

江戸時代には、豊田市を代表する「三河森下紙」や障子紙、神社のお札紙などをすいていたようです。これらの和紙は、足助や岐阜県の紙問屋から各地に出荷されていました。

明治時代になると、機械製紙の導入により手すき和紙の需要は減少しました。豊田市では、昭和40年代に伝統的な手すき和紙は途絶えてしまいました。

しかし、小原和紙のふるさとと三州足助屋敷が設立されたことで、伝統的な手すき和紙を残そうと、その技術が復活しました。さらに、小原では和紙原料の栽培にも取り組み、毎年地域の小中学生も参加して樹皮の収穫作業(カンゾカシキ)を行っています。この皮は、市内小中学生の卒業証書に使われています。

◆ 和紙の原料



コウゾ

クワ科

★卒業証書に使用

豊田市の和紙の主原料。
長く強靱な繊維です。



トロロアオイ

アオイ科

★卒業証書に使用

直接和紙にならないが、紙すきの際の
粘剤として不可欠です。



ミツマタ

ジンチョウゲ科

コウゾよりも繊維が短く光沢があり
ます。



ガンピ

ジンチョウゲ科

最も繊維が短い。光沢があり緻密な
紙になります。

◆ 豊田市の和紙の特徴

豊田市を代表する和紙は、「三河森下紙」というコウゾ紙です。この和紙は、江戸時代に作られ始め、番傘に多く使われました。傘は、何度も開閉を繰り返すため、折り曲げに強く破れにくい和紙が必要です。障子紙のように薄さと白さを求めるのではなく、丈夫さを求めました。そのために、障子紙では使わない甘皮という、とても細くて薄い部分も使います。そして、コウゾの繊維同士をよく絡み合わせるために、前後左右に何度も揺り動かしてすくのが特徴です。豊田市の和紙は、この三河森下紙の作り方を受け継いでいます。

卒業証書の 作り方

原料づくり

1 コウゾ栽培



日当たりと水はけの良さが
コウゾ栽培には大切です。小原
和紙のふるさとでは市民団体や
愛知少年院と連携し栽培に
取り組んでいます。

2 刈り取り



12月から1月にかけて刈り
取ります。効率よく蒸すために
枝を切り取り長さをそろえ
ます。

3 カンゾカシキ



和紙の原料となる楮コウゾの木の
皮を蒸して剥ぎ取る作業の
こと。大きな蒸し器（コシキ
という）で3時間程度蒸し、
皮をはぎ取ります。

4 タクリ



はぎ取った皮の表面にある
薄い黒皮を、専用のナイフで
削り取り、内側の白皮を残し
ます。

5 煮熟



白皮をソーダ灰というアルカ
リ液で煮ます。煮ることで皮
の中の栄養分や汚れを取り
出します。

6 ちり取り



煮熟の済んだ白皮のソーダ
灰を流水で洗い流し、白皮に
残るキズや傷んだ繊維などの
チリを手で取り除きます。

7 叩解



皮を木の棒で叩き、皮を細かく
ほぐして繊維にしていきます。

トロしぼり

8 トロしぼり



トロロアオイの根を叩き潰して
出てくるネバネバの成分『トロ』
を木綿袋でこして取ります。

舟水づくり

9 舟水づくり



舟という紙すき用の水槽に水
を入れ、コウゾの繊維とトロを
加え、よくかき混ぜます。出来
上がったものを舟水と言い、
これが紙のもとになります。

繊維

トロ

水

\\ 裏表紙へ //

紙すき